

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3141672号
(U3141672)

(45) 発行日 平成20年5月22日 (2008. 5. 22)

(24) 登録日 平成20年4月23日 (2008. 4. 23)

(51) Int.Cl.	F 1
A 4 1 B 9/08 (2006. 01)	A 4 1 B 9/08
A 4 1 B 9/02 (2006. 01)	A 4 1 B 9/02 C
A 4 1 B 11/14 (2006. 01)	A 4 1 B 11/14 C
A 4 1 B 9/10 (2006. 01)	A 4 1 B 9/10

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2008-1421 (U2008-1421)	(73) 実用新案権者 597048562
(22) 出願日 平成20年2月14日 (2008. 2. 14)	有限会社金井総合文化研究所 東京都新宿区三栄町2 3 番地
	(74) 代理人 100069420 弁理士 奈良 武
	(72) 考案者 金井 純代 東京都新宿区三栄町2 3 番地 有限会社 金井総合文化研究所内

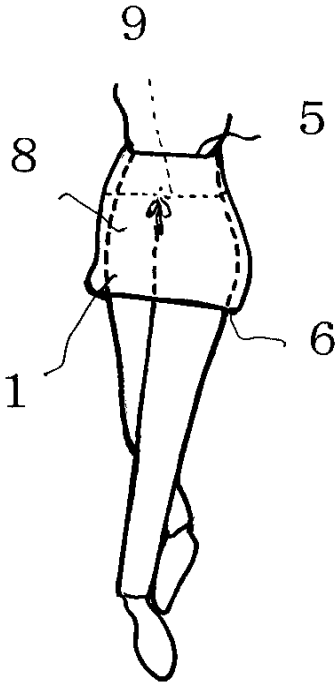
(54) 【考案の名称】 下着を着けたままで排泄行為ができる下着

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 高齢者や病氣加療中の患者などが尿意や便意をもようしたときでも、下着のままですぐ排泄行為ができるようにした下着を提供する。

【解決手段】 タイツのような下着本体1と下着本体1を着用したとき該下着本体1にあて、身体の恥骨近傍に当たる部位2から、肛門近傍に当たる部位3まで連なって設けたスリット4とがある。また、下着本体1の上辺部周囲に上辺5が縫着され、下辺6は恥骨部近傍に当たる部位2および肛門近傍に当たる部位3の下方となるようにし、かつ両側部7は開放できる状態で重なりあった横長状のエプロン部材8と、エプロン部材8の水平中間部にあつて、エプロン部材8に設けた紐あるいはゴムのような支持部材9とからなる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

タイツのような下着本体（１）と、
上記下着本体（１）を着用したとき該下着本体（１）にあって、身体の恥骨近傍に当たる部位（２）から、肛門近傍に当たる部位（３）まで連なって設けたスリット（４）と、
上記下着本体（１）の上辺部周囲に上辺（５）が縫着され、下辺（６）は上記恥骨部近傍に当たる部位（２）および肛門近傍に当たる部位（３）の下方となるようにし、かつその両側部（７）は開放できる状態で重なりあった横長状のスカート部材（８）と、
該スカート部材（８）の垂直中間部にあって、該スカート部材（８）に設けた紐あるいはゴムのような支持部材（９）とからなり、
使用時はこの支持部材（９）を上記下着本体（１）の上辺方向に折り曲げて固定し、上記スリット（４）部分が露出できるようにした、
ことを特徴とする下着を着けたままで排泄行為ができる下着。

10

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本案は、タイツのような下着を着けたままで、即排泄行為ができるようにした下着に関する。

【背景技術】

【０００２】

特に、高齢者や病気加療中の患者などは、尿意や便意をもどうしても下着を下げるのに時間がかかって、漏らして下着や寝具や便器周囲を汚すことが多くこのため、結局は所謂「オムツ」に頼ることになり看護の人の負担となることは勿論、自分自身でも不快な思いをすることになっていた。

20

【０００３】

一方、ベットのすぐ傍にポータブルトイレを設置することも考えられるが、これは排泄行為の時、所謂「尻が丸出し」状態となりカーテン１枚で仕切られた状況には抵抗があって、この為無理にトイレまで歩いていく行為にはしり、結局は間に合わず漏らす結果を招いていたのである。

【０００４】

この為近頃袋状の排泄処理具を使用者の排出部位に定着するもの（特許文献１）や、例えば病室や旅行先その他車中でも、羞恥心を覚えることなく安心して排泄行為ができるものとして、すくなくとも下辺が膝より下方に位置する丈を持ったスカート本体と、該スカート本体の両側のあって手を挿入できる開放溝がある考案を、本願考案者自身が提唱している。

30

【特許文献１】特公表２００２－５２１０７４（要約書）

【特許文献２】登録実用新案第３０４１０８９号（要約書）

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【０００５】

而して本考案の目的は上記欠点を除去するもので、高齢者や病気加療中の患者などが尿意や便意をもよoshしたときでも、下着を着けたままの状態ですぐ排泄行為ができるようにした下着を提供することである。

40

【０００６】

そしてかかる排泄行為の時は、周囲の環境その他自分自身の要望で、例えばお尻等が露出することがない、即ち使用者に羞恥心を与えない下着を提供することができたのである。

【課題を解決するための手段】

【０００７】

しかして本考案の特徴は、タイツのような下着本体（１）と上記下着本体（１）を着用したとき該下着本体（１）にあって、身体の恥骨近傍に当たる部位（２）から、肛門近傍に当

50

たる部位（３）まで連なって設けたスリット（４）とがあることである。

【０００８】

また、上記下着本体（１）の上辺部周囲に上辺（５）が縫着され下辺（６）は上記恥骨部近傍に当たる部位（２）および肛門近傍に当たる部位（３）の下方となるようにし、かつ両側部（７）は開放できる状態で重なりあった横長状のエプロン部材（８）と、該スカート部材（８）の垂直中間部にあつて、該スカート部材（８）に設けた紐あるいはゴムのような支持部材（９）とからなることである。

【０００９】

そしてその使用時は、この支持部材（９）を上記下着本体（１）の上辺方向に折り曲げて固定し、上記スリット（４）部分即ち身体の排出部位が露出できるようにしたことである。

10

【本案の効果】

【００１０】

而して、使用者がいま通常の状態即ち、排泄行為を要望しない状態の場合は、上記下着本体（１）のスカート部材（８）の上部が重なり合った状態となっていないから、例えば使用者が立って歩行したり、座ったりしてもスカート部材（８）の存在で、下着本体（１）に設けたスリット（４）の存在を外部から見られることがないのである。

【００１１】

続いて使用者が排泄行為をなしたいと思ったときは、必要に応じてまず支持部材（９）を緩め該支持部材（９）の上方をスカート部材（８）の上方に折り曲げ、スカート部材（８）の丈を短くすることで、支持部材（９）を固定すれば下着本体（１）のスリット（４）を露出させることなどが簡単に出来るという、このスカート部材（８）は２つの機能がある。

20

【００１２】

従ってこの状態で適宜の便器に座れば、スリット（４）部分が左右方向に少し開きすぐ排泄行為を行うことができ、しかも排泄物で便器など汚すことなく、下着のままでかかる行為ができるようになったのである。しかもかかる排泄行為の時は、お尻等が露出することがない即ち使用者に羞恥心を与えない下着を提供できたのである。

【実施例】

【００１３】

図で（１）はタイツのような下着本体で、該下着本体（１）を着用したとき該下着本体（１）にあて、使用者身体の恥骨近傍に当たる部位（２）から、肛門近傍に当たる部位（３）まで連なって水平方向に長いスリット（４）が設けられている。

30

【００１４】

（８）はスカート部材で、使用者の腰周りに両端部分を重なり合わせて使用者の腰に捲装させたものである。そしてその上辺（５）は上記下着本体（１）の上辺部周囲に縫着させ、その下辺（６）は使用者の恥骨部近傍に当たる部位（２）および肛門近傍に当たる部位（３）の下方となるようになっている。

【００１５】

従ってかかるスカート部材（８）は、その両側部（７）が開放できる状態で重なりあった横長状としており、この実施例ではその水平中間部にあつてその円周方向に紐掛け部（１０）が間隔を置いて多数あり、水平方に滑動できる紐のような支持部材（９）が嵌装されている。なお、支持部材（９）は紐に限らずゴムのようなものであってもよい。

40

【００１６】

而して、使用者が今通常の状態即ち、排泄行為を要望しない状態の場合は、上記下着本体（１）のスカート部材（８）の上部が重なり合った状態となっていないから、例えば使用者が立って歩行したり、座ったりしてもスカート部材（８）の存在で、下着本体（１）に設けたスリット（４）の存在を外部から見られることがないのである。

【００１７】

続いて使用者が排泄行為をなしたいと思ったときは、まず支持部材（９）を緩め該支持部

50

材（９）の上方をスカート部材（８）の上方に折り曲げ、支持部材（９）を結ぶなど固定すれば下着本体」（１）のスリット（４）を露出させることが簡単に出来るのである。

【００１８】

従ってこの状態で適宜の便器に座れば、スリット（４）部分が左右方向に少し開きすぐ排泄行為を行うことができ、しかも排泄物で便器など汚すことなく、下着のままでかかる行為ができるようになったのである。しかもかかる排泄行為の時は、お尻等が露出することがない即ち使用者に羞恥心を与えないのである。

【図面の簡単な説明】

【００１９】

【図１】 本案下着を着けた使用者の正面説明図

10

【図２】 同裏面説明図

【図３】 スカート部材をたくし上げた状態の本案下着を着けた使用者の正面説明

【図４】 同裏面説明図

【図５】 便器に座った状態の使用者の説明図

【図６】 同スカート部材部分の拡大説明図

【図７】 図６のＡ－Ａ線縮小断面図

【図８】 下着本体とスカート部材の縫着部分の拡大断面図

【図９】 同エプロン部材をたくしあげた状態の拡大断面図

【符号の説明】

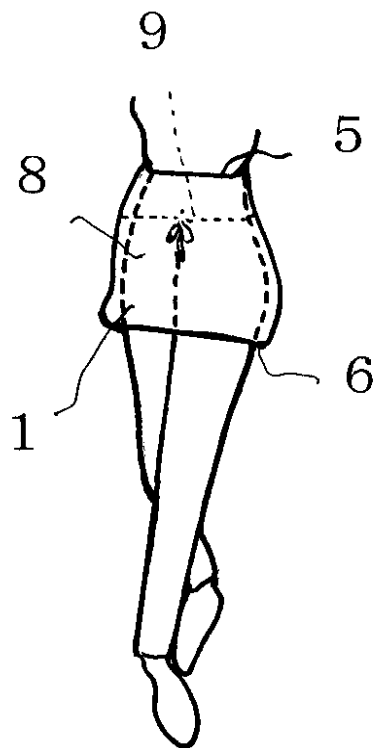
【００２０】

20

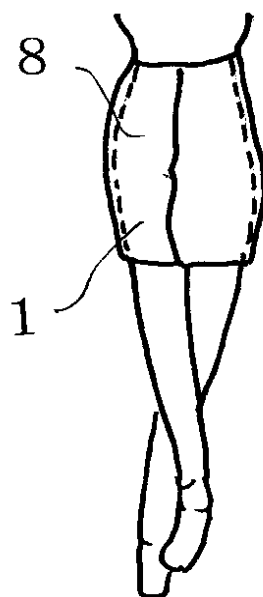
- 1 下着本体
- 2 恥骨近傍に当たる部分の部位
- 3 肛門近傍に当たる部分の部位
- 4 スリット
- 5 上辺
- 6 下辺
- 7 両側部
- 8 スカート部材
- 9 支持部材
- 10 紐掛け部

30

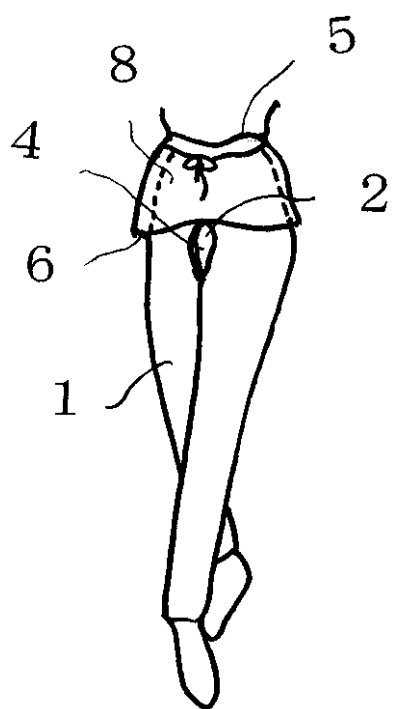
【図 1】



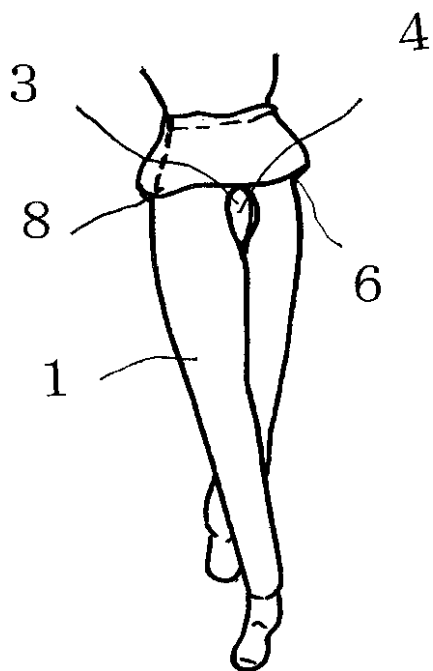
【図 2】



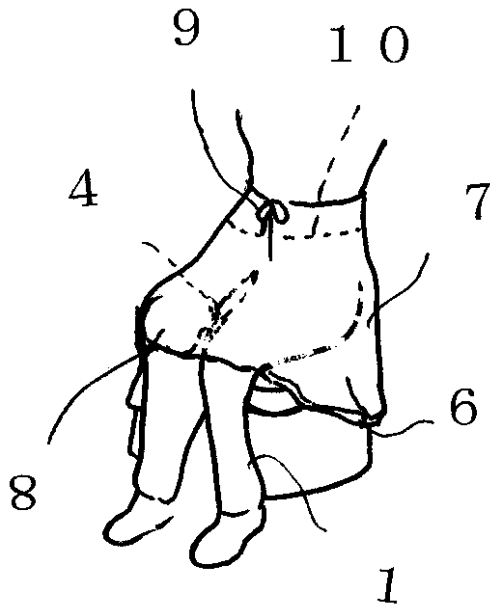
【図 3】



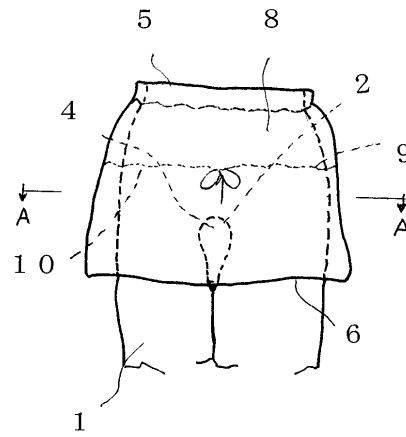
【図 4】



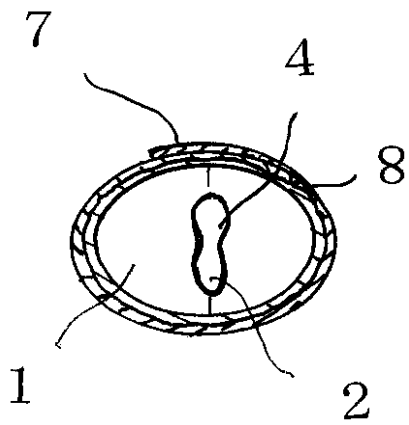
【図 5】



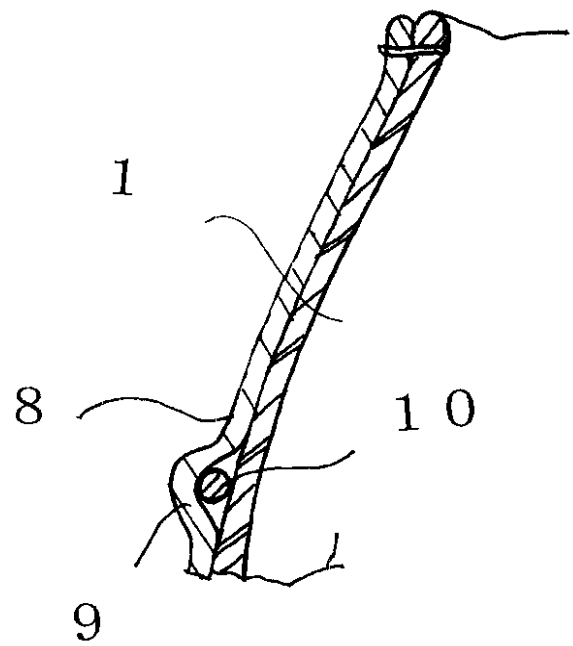
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【図 9】

